

### 医療関係者のワクチン接種について（基本的考え方）

---

医療機関は様々な感染症のリスクが高い職場である。医療従事者は、自分自身を感染症から身を守るとともに、外来／病棟業務を通して自身から患者へ感染伝播するリスクを最小限にすることが求められている。そのため、非医療従事者よりもワクチン予防可能疾患（VPD: Vaccine-Preventable disease）に対する積極的なワクチン接種が推奨されており、病院管理者は病院職員の新規採用にあたって、推奨されるワクチン接種を完遂した状態で就業させるように務めるべきである。また、学生・実習生・見学者等の受入に当たっても、同様の基準でワクチン接種を求めるべきである。（「医療関係者のためのワクチンガイドライン第3版」、日本環境感染学会、2020年より抜粋）

麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎のワクチン（図1、表1参照）

- 免疫を獲得した上で勤務・実習を開始することを原則とする。
- ワクチン接種による免疫獲得の定義は、**1歳以上で「2回」**を原則とする。
- 勤務・実習中は、所属・勤務・実習形態等に関わらず、「予防接種歴・抗体価」の記録を本人と医療機関で保管する。

- 特定の感染症に対する免疫が不十分であるにもかかわらずワクチン接種を受けることができない医療関係者・実習者・見学者については、個人のプライバシーに十分配慮し、勤務・実習体制を配慮する。
- **医療関係者とは、事務職員、医療職員、学生、指導教官を含めて、受診患者と接触する可能性のある常勤、非常勤、派遣、実習生、指導教官等のすべてを含むものとする。**

※ 麻疹・水痘（播種性帯状疱疹を含む）が空気感染することを考慮すると、事務職員など直接患者と接しない者も含めて病院内で勤務あるいは研修する者すべてが「医療関係者」であり、当院において感染対策の対象となる。

※ ワクチン接種を受けることができない医療関係者は、就業場所や実習場所に制限を設けることがある。

※ 患者と接する外部委託業者にも、当院の職員と同様の対策を求める。

## 新規採用者の対応

---

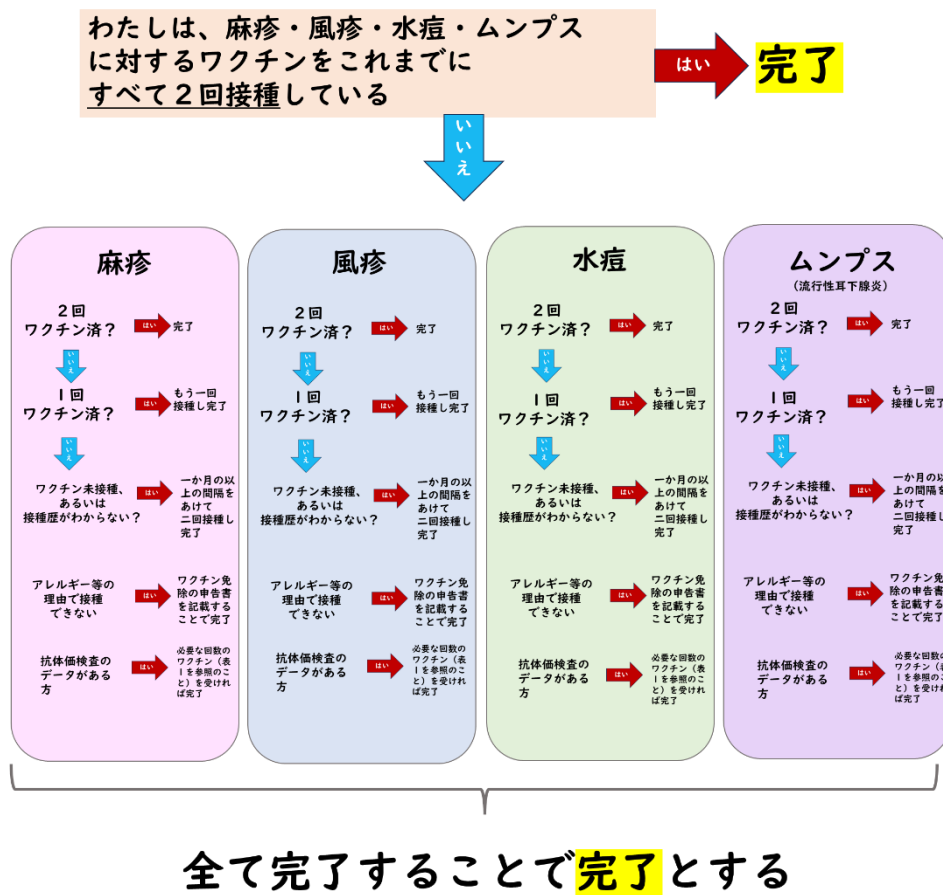
マニュアル6（2）を参照

外部（津島地区など）より岡山大学病院への異動者については、新採用に準じた証明書の提出を求める。

## 既就労者の対策

- 今までに 2回以上ワクチン接種しているか、抗体検査で基準（表1参照）を満たしていることが必要である。
- **2回以上ワクチン接種をしていることが確認できれば抗体検査は不要**である。
- アレルギー、妊娠等でワクチン接種ができない場合は、ワクチン免除申告書を提出する。妊娠の場合は、職場復帰までに基準を満たしておくことが望ましい。

図1 麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎に対するワクチン接種のフローチャート



[参考] 医療関係者のためのワクチンガイドライン第5版、日本環境感染学会 2026

表1 麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎 抗体価の検査方法と判断基準

※2回以上のワクチン接種歴がある場合は、抗体検査は不要である。

※ワクチン接種歴が明らかではない者は、以下の基準に準じてワクチン接種を受ける。

	A：あと2回の予防接種が必要	B：あと1回の予防接種が必要	C：今すぐの予防接種は不要
麻疹*	EIA法 (IgG) 2.0未満 中和法 1:4 未満 FIA法 (F) 抗体価 0.4AI 未満	EIA法 (IgG) 2.0以上 16.0未満 中和法 1:4 FIA法 (F) 抗体価 0.4AI以上 1.5AI未満	EIA法 (IgG) 16.0以上 中和法 1:8以上 FIA法 (F) 抗体価 1.5AI以上
風疹**	HI法 1:8 未満 EIA法 (IgG) (A) 2.0未満 EIA法 (IgG) (B) ΔA0.100 未満 ※：陰性 LTI法 (C) 10IU/mL 未満 CLEIA法 (D) 10IU/mL 未満 CLEIA法 (E) 抗体価 4 未満 FIA法 (F) 抗体価 1.0AI 未満 FIA法 (G) 10IU/mL 未満 CLIA法 (H) 10IU/mL 未満 ELFA法 (I) 10IU/mL 未満	HI法 1:8、1:16 EIA法 (IgG) (A) 2.0以上 8.0未満 EIA法 (IgG) (B) 30IU/mL 未満 LTI法 (C) 10以上 30IU/mL 未満 CLEIA法 (D) 10以上 45IU/mL 未満 CLEIA法 (E) 抗体価 4以上 14 未満 FIA法 (F) 抗体価 1.0以上 3.0AI 未満 FIA法 (G) 10以上 30IU/mL 未満 CLIA法 (H) 10以上 25IU/mL 未満 ELFA法 (I) 10以上 45IU/mL 未満	HI法 1:32 以上 EIA法 (IgG) (A) 8.0以上 EIA法 (IgG) (B) 30IU/mL 以上 LTI法 (C) 30IU/mL 以上 CLEIA法 (D) 45IU/mL 以上 CLEIA法 (E) 抗体価 14 以上 FIA法 (F) 抗体価 3.0AI 以上 FIA法 (G) 30IU/mL 以上 CLIA法 (H) 25IU/mL 以上 ELFA法 (I) 45IU/mL 以上
水痘	EIA法 (IgG) 2.0 未満 IAHA法 1:2 未満 中和法 1:2 未満 FIA法 (F) 抗体価 0.3AI 未満	EIA法 (IgG) 2.0 以上 4.0 未満 IAHA法 1:2 中和法 1:2 FIA法 (F) 抗体価 0.3AI 以上 0.5AI 未満	EIA法 (IgG) 4.0 以上 IAHA法 1:4 以上 中和法 1:4 以上 FIA法 (F) 抗体価 0.5AI 以上
おたふく かぜ	EIA法 (IgG) 2.0 未満 FIA法 (F) 抗体価 0.7AI 未満	EIA法 (IgG) 2.0 以上 4.0 未満 FIA法 (F) 抗体価 0.7AI 以上 1.3AI 未満	EIA法 (IgG) 4.0 以上 FIA法 (F) 抗体価 1.3AI 以上

※ΔAは、ペア穴の吸光度の差（陰性の場合、国際単位への変換は未実施）

[参考] 医療関係者のためのワクチンガイドライン第5版、日本環境感染学会 2026

**(注意) 検査方法は、上記の検査方法に限るものとする。**

**検査受診の場合はご注意ください。岡山大学病院の推奨検査方法： EIA法 (IgG)**

改訂履歴

2016 年作成	
2017 年 1 月 20 日改訂	
2018 年 9 月改訂	
2021 年 9 月改訂	環境感染学会ワクチンガイドライン第 3 版をもとに抗体価の検査方法と判断基準の表を修正した
2023 年 9 月	環境感染学会ワクチンガイドライン第 3 版をもとに抗体価の検査方法と判断基準の表を修正した。レイアウトも変更した。
2024 年 2 月	麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎に対するワクチン接種のフローチャートの一部を改訂
2026 年 3 月	表 1 環境感染学会ワクチンガイドライン第 3 版→第 5 版に変更